

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2023 市民／学生応募用紙

<b>自治体提示の地域課題名</b> (注1)	No.	<b>自治体提示の地域課題名</b>	<b>自治体名</b>
	- (事務局用)	共創による「ひとが輝き 交流ひろがる わたしたちの宇部」実現	山口県宇部市
<b>チームがつけたアイデア名</b> (公開) (注2)	彫刻と未来 アートな市へ まちじゅうビエンナーレ		

(注1) 地域課題名は、COG2023 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

### 1. 応募者情報 下の欄のうち赤字部分は削除して該当する番号を記入のこと

<b>チーム名</b> (公開)	宇部商業高校 総合実践チーム「IKKO」		
<b>チーム属性</b> (公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	3	
<b>メンバー数</b> (公開)	18名		
<b>代表者</b> (公開)	手島 一閻		
<b>メンバー</b> (公開)	久保 愛来		

**【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。**

#### ＜応募内容の公開＞

1. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
2. 公開条件について：  
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。  
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
3. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません)
4. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

#### ＜知的所有権等の取扱い＞

5. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様でお願いします。
6. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

#### ＜チームメンバー名簿＞

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

**アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認**

○

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて説明の途中に図表を入れていただいて結構です。

### (1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、何をする社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたいなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。**2ページ以内**でご記入ください。

**<応募チームとして解決したい課題のポイント<u>はこれです！</u>をごく短く以下に書いてください>**

<解決したい課題のポイント>

1. 宇部市といえばこれ！といったアピールポイント、観光地がない
2. 人口が減少しているので、みんなが移住したくなるようなアートな街にしたい

宇部市観光地と検索した結果、スクロールほどで宇部市以外の観光地が出始めるくらいに、宇部市には目立つものがない。宇部市は、人口が減少してきていて、2023年には16万人割れになる見込みなので、アートの方で宇部市を元気にしたいです。

**<以上の課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いてください> <アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。>**

**<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が原点です>**

<提案するアイデアの内容>

**「何を」するアイデアなのか・・・宇部市の文化遺産「彫刻」と街並みを融合させた街づくり計画の策定**

宇部市といえば？という問いに彫刻と答える人は少ないだろう。宇部市といえば、と聞いて「彫刻」と、思い浮かぶ人も少ない。だが実際、宇部市は彫刻を一つの魅力として押し出している。ここに目をつけた。まだ宇部市にはこれといって目立つものがないがどうにかすれば、宇部市の象徴となりうる可能性がある「彫刻」をうまく利用し、宇部市を盛り上げ、間接的に人口減少を解決していく。

私は、芸術が好きで、昨年の夏休みにアートで街づくりをしている香川県瀬戸内にある「直島、豊島、小豆島」の観光にいったり、先日、青森県立美術館に奈良美智さんの作品を鑑賞しにいった。直島には、フェリーで移動するが、まず最初に、現代アーティストの草間彌生さんの「かぼちゃの彫刻」が観光客をお出迎えする。島には美術館と彫刻がちりばめられ、マップを見ながら島を回遊するのだが、アートと街並みが融合、自然にその島の景観を鑑賞でき、新しい良さにも気づくことができる。「あんた観光かい？」と島の人に話しかけられ、地域住民との交流もできる。

宇部市内には、今まで受賞した彫刻が街中に点在しているが、「ただ、展示しているだけ」のような気がする。とても、もったいない。素晴らしい宇部市の文化的資産を有効活用すべきだ。現在、「うべビエンナーレ」が2年に1回開催されている。開催場所は、ときわ公園の1か所だが、うべビエンナーレの開催に合わせて過去のビエンナーレ受賞彫刻作品を、観光地やC A F E・ショップ・街並み・風景に融合させ、まちじゅうに配置することで、人の回遊が生まれ、アートな市へ変貌させることができると考えた。

彫刻が市全体にちりばめられてあり、彫刻を見て回ると同時に市全体を見て回ることになる。その彫刻にあわせてcafe やショップなどを設置し（既存の店でもよい）相乗効果を生む。

次の絵は、自分が描いた彫刻と街並みが融合した風景だ。

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

イメージ図



例えば、「温羅（うら）」という彫刻。原型は鬼だが、POPな配色になっているので、静かなところに置くのではなく、活気のあるところに置くといい。昔は活気があったが、今は元気のない商店街に配置し、「温羅（うら）」の世界観と配色に合わせた街の風景に生まれ変わらせると良い。



彫刻「温羅」

困気を感じるので、すぐ田舎で古民家があり、田んぼがあるところが良い。静かな土地と彫刻の不思議さを融合し、古民家をリノベーションすれば、古民家カフェや古民家コテージなど観光地として生まれ変わらせると良い。

**「誰が」**・・・ 宇部商業高等学校、商業研究部が主体となって企画。

ターゲット：映えや新しいもの、面白いものを求めている若者。例 JK 彫刻、主にアートに対する関心のある人。

映えや新しいもの、面白いものを求めてきた若者たちや広告により関心を引き立たされた人たちは、食事や観光を楽しむと同時に彫刻・アートに対しての感性が養われる。

彫刻以外のその町の魅力も知るきっかけになる。彫刻、主にアートに対する関心のある人達には、彫刻を楽しんでもらえるのはもちろんのこと、その町の魅力をアピールするきっかけになりうまく伝えることができれば、ここに住みたいと思ってもらえ県外からの移住による人口増加につながる可能性もある。

**「いつ」**・・・ 「うべエンナーレ」が2年に1回開催されている。開催場所は、ときわ公園の1か所だが、うべエンナーレの開催に合わせて過去の受賞彫刻作品を、観光地やC A F E・ショップ・街並み・風景に融合させ、まちじゅうに配置していく。宇部市が少しずつ、現代彫刻と街並みが融合したアートな街に変貌していく。

**「どこで」**・・・ 宇部市内の全ての地域が舞台。魅力はあるがうまく伝えることができていない地域やこれといった魅力がまだない地域に実施していく。

**「どのように」**・・・ 以下の実施手順を繰り返し、宇部市の街並みをアートな市へ完成させます

#### (1) 【PLAN】

1. 各街の風景にあった彫刻の選択。各街の風景と彫刻に合わせた街づくり計画。

#### (2) 【DO】

1. うべエンナーレの開催に合わせて、彫刻の移動設置。

2. 彫刻回遊マップの作成。うべエンナーレに合わせて彫刻回遊マップを先行公開、配布。

#### (3) 【SEE】

1. 実施した結果、人の回遊が見られたかどうか分析、課題の洗い出し。

2. 分析結果を踏まえて、次回の彫刻設置候補地域と設置予定彫刻をピックアップ。



彫刻「ロッキングドール」



## 2. アイデアの説明（公開）

## (2) アイデアの理由（公開）

### (2) アイデアの理由（公開）

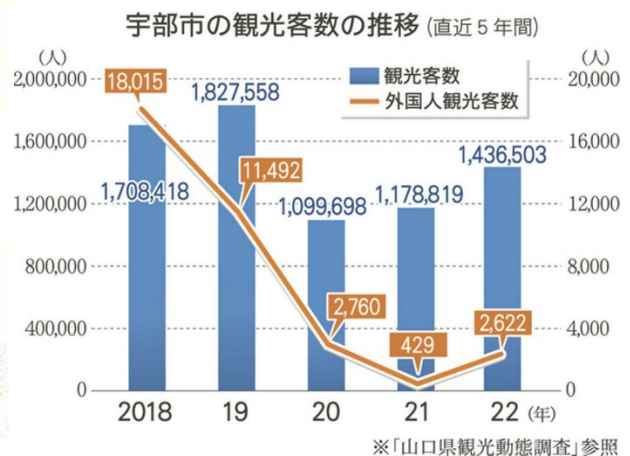
次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」というアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかの理由を上記のデータを示しつつわかりやすく書いていきます>

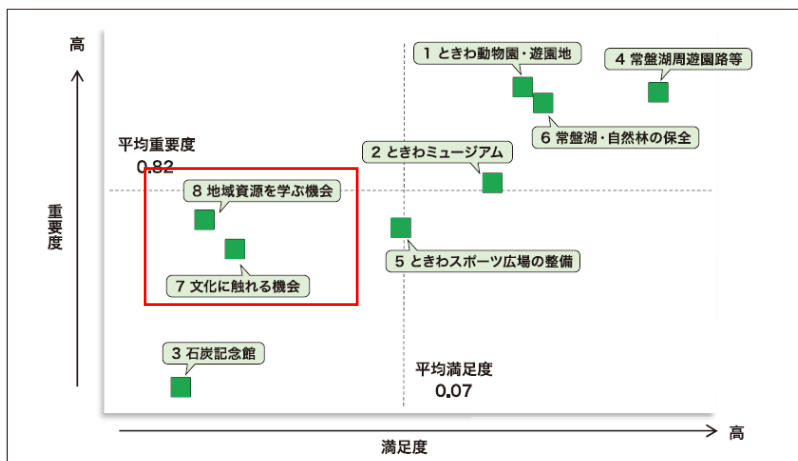
#### 宇部市観光業の現状と課題

・宇部市にはまだこれといって目立つものがない。・人口減少している。2023年 16万人割れ人口は減少の一途をたどり、宇部市観光客数はコロナ禍により激減した。回復基調にはあるが、外国人観光客は全く回復していないのが現状。外国人観光客は、SNSを見て、観光地を決めることも多く、街中がアートな街並みになれば、外国人観光客の増加にもつながるのではないだろうか。



主要施策の「満足度」「重要度」について、注目した値は、文化に触れる機会や地域資源を学ぶ機会、満足度が平均値を大きく下回っています。宇部市は2年に1回、世界的な彫刻展「UBEビエンナーレ」が開催されており、彫刻=宇部市を代表する文化であり、地域資源です。野外彫刻を次世代に引き継ぎ、それに触れ、学ぶ機会の充実が課題として上げられます。

以上の調査結果より、宇部市観光業の課題として、観光コンテンツの育成が急務で、「ときわ公園」を核にした観光戦略が求められていること。特に、イベントの充実を望む意見が多く、野外彫刻という地域資源の有効活用が求められることが分かりました。



アートによる街づくりをすることでの効果

直島町を訪れる訪日外国人旅行者（国地域別の旅行客数、宿泊客数、宿泊比率、上位10国地域）



出典：直島を訪れる訪日外国人旅行者の実態調査～瀬戸内国際芸術祭のインバウンドデータを読み解く～  
日本政策投資銀行

記事内容：現代アートの聖地としても有名な直島を訪れる訪日外国人旅行者の属性や動態を定量的に明らかにするべく、前回の瀬戸芸 2019 の期間中に直島を訪れた訪日外国人旅行者のビッグデータを取得。その分析結果をもとに、インバウンド施策に向けた提言を、瀬戸芸 2022 会期中の 22 年 11 月に発表した。

直島を訪れる外国人旅行者数では、中国が最も多く、台湾、韓国、香港と東アジア 4 地域がトップを占める。これらの地域は、2019 年当時に高松空港に直行便が就航していたことから、同空港を利用して直島を訪れた人が多いと考えられる。続いて、アメリカ、フランス、オーストラリア、イギリスなど欧米豪が並ぶ。

一方で、直島を訪れた人のうち直島に宿泊した人の割合（＝宿泊比率）を試算したところ、上位はオーストラリア、アメリカ、カナダ、イギリスであり、アジアより欧米豪の宿泊比率が総じて高い結果となった。直島を訪れる外国人旅行者の数では東アジアが多い一方で、宿泊する比率は欧米豪が高い。

以上の分析記事からも、訪日外国人旅行者を呼び込むのに芸術は、十分なポテンシャルを秘めていると考えられる。更には、宇部市には「宇部空港」がある。現在、宇部～東京間の便しかないが、例えば、ソウル～宇部、台湾～宇部、中国～宇部など、新たな空港便の増便も考えられる。

公立博物館における来館者数の状況について

青森県立美術館 265,710 人 外国人 7,632 人 — ・来館者数は H30 年度

山口県立美術館 114,929 人 外国人 未調査 — ・来館者数は H30 年度

出典；文化庁

青森県立美術館の年間来場者数は、265,710 人。外国人来場者も 7,632 人。このことから、彫刻を核にして、現代アート美術館を「ときわ公園」に設置することも、必要と考えている。

## (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

<アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきまず>

<以下のように分けて書いていきます>

1. 実現する主体
2. 実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. 実現にいたる時間軸を含むプロセス

### 1, 実現する主体

宇部商業高等学校 商業研究部・宇部市文化振興課・市民団体など  
うべエンナーレで作品を応募してくれている現代芸術家の皆様

### 2, 実現に必要な資源（モノ・ヒト・カネ）

モノ：うべエンナーレで受賞した作品を有効活用。

ヒト：うべエンナーレで応募してくれた芸術家に声をかけて協力を依頼する。

企画などは、宇部商業高校商業研究部や市民団体など意見を集約する。

主体は、宇部市文化振興課となる。

カネ：宇部市の財政による予算。クラウドファンディングを行い資金の調達をする。

芸術に対する関心は高いので、企画次第では、多額の資金が調達できる可能性は十分にある。

（国立博物館のクラウドファンディングでは、9億2,000万円集められた。）

### 3, 実現に至る時間軸を含むプロセス

#### 【R5.4～】共創による「ひとが輝き 交流ひろがる わたしたちの宇部」実現 に向けた、学校内研修授業

地域課題である「ひとが輝き 交流ひろがる わたしたちの宇部」の実現に向けて、前提となる地域と地域企業の現状や現在の取り組み、これからの課題などについて、地域の方々に来校していただき、講義を実施しました。

#### (1) 地域を知る

5/12 宇部市役所 観光交流課

5/26 山陽小野田市役所 商工労働課 久保 弘明 様

6/ 2 山口県庁 産業労働部産業政策課 産業企画班 主幹（班長）井上 正雄 様

9/ 8 宇部市公共職業安定所 就職支援コーディネーター 石田 典子 様

11/10 宇部商工会議所 課長補佐 為近 晃弘 様

#### (2) 地域企業を知る

9/8 UBE 株式会社 人事部 市橋 康嗣 様

9/15 小野田商業開発株式会社 取締役営業本部長兼開発部長 吉良 忠様

9/22 株式会社 YMFG ZONE プランニング 河内一泰 様

9/29 税理士法人やまぐちパートナーズ 統括代表社員 公認会計士 河口 雅邦 様

10/6 てしま旅館 社長 手島 英樹 様

10/20 量り売り専門店 F 代表 藤本 美砂子 様

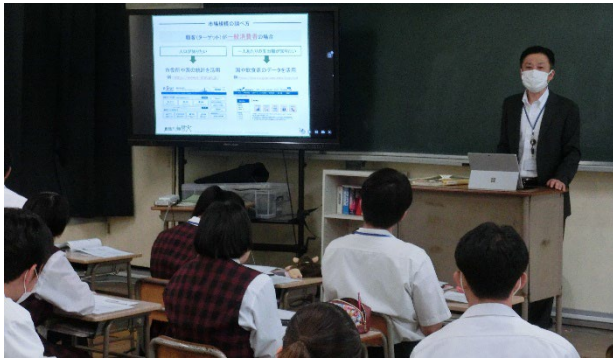
10/27 株式会社コパン 代表取締役 城美 暁 様

#### (3) ビジネスプランニングを学ぶ

## 2. アイデアの説明（公開）

## (2) アイデアの理由（公開）

5/11・5/28 日本政策金融公庫 国民生活事業本部 中国創業支援センター 上席所長代理 富田 佑樹



### 【R5. 4～】宇部市地域連携共創推進課によるチャレンジオープンガバナンス応募に向けた講義

チャレンジオープンガバナンス応募に向けた授業として、地域課題の説明、チャレンジオープンガバナンスに関する説明や考え方など、日本政策金融公庫、宇部市地域連携共創推進課さんらに来校していただき、講義を実施しました。

(2) チャレンジオープンガバナンスについて理解する

9/28 宇部市 地域連携共創推進課 課長 大西義紀氏ら



### 【R5. 11～】宇部市地域連携共創推進課と連携した企画作成とブラッシュアップ

### 【R5. 12～】チャレンジオープンガバナンスに応募

**以降、日程（案）となります。**

【R5. 4～】まちじゅうびエンナーレ実行委員会の立ち上げ。宇部市・宇部商業高校・市民団体など。

各街の風景にあった彫刻の選択。各街の風景と彫刻に合わせた街づくり計画、企画立案。

【R6. 4～】予算策定。クラウドファンディングの実施により、予算を確保。

【R7. 4～】うべびエンナーレの開催に合わせて、彫刻の移動設置。

彫刻回遊マップの作成。

うべびエンナーレに合わせて彫刻回遊マップを先行公開、配布。

【R8. 4～】実施した結果、人の回遊が見られたかどうか分析、課題の洗い出し。

分析結果を踏まえて、次回の彫刻設置候補地域と設置予定彫刻をピックアップ。